

学生支援 だより

TOHOKU UNIVERSITY
GAKUSEISHIEN
DAYORI

2026.7.30 No.

35



CONTENTS

P1	P2	P3	P4
●第65回全国七大学総合体育大会(七大学戦)夏季競技のスタートについて	●海上運動会の開催について	●第78回東北大学祭の開催について ●国民年金保険料学生納付特例制度のご案内	●博士人材キャリアデベロップメントセンター(PhDC)からのお知らせ

第65回全国七大学総合体育大会(七大学戦)夏季競技のスタートについて

北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学の旧帝国大学が参加する全国七大学総合体育大会について、今年度の第65回大会は九州大学主管で開催しており、6月から夏季競技39種目がスタートし、9月後半まで行われます。6月2日(火)には、学友会応援団主催の壮行会が開催され、選手代表から本学の総合優勝を目指し、所属する競技種目の勝利を誓う熱い思いが込められた選手宣誓があった後、応援団から選手の活躍と総合優勝奪還を祈念した演舞が披露されました。

これから競技が始まる学生団体から大会への意気込みや競技の見どころ等を紹介しますので、ご覧ください。なお、他の競技スケジュール等については、全国七大学総合体育大会ホームページ(URL:<https://7univ-nanadai-sen.jp/>)をご確認ください。引き続き、選手の皆さんへの応援をよろしくお願いします。



軟式庭球部

学友会軟式庭球部は、東北学生ソフトテニス連盟主催の大会や七大学戦優勝を目標に活動しています。部員全員が高校でソフトテニスをしていただけではありませんが、日々自分のテニスを追い求め練習に励んでいます。

ゴールデンウィークに開催された大会の団体戦では男女ともに4位という結果になりました。昨年の男子2位、女子3位から順位を下げてしまい、目標であった男女ともに全国大学王座決定戦への出場は叶いませんでした。また、この大会でこれまで長い間団体戦の主力として活躍していた4年生が引退となり、今年は本格的に世代交代の年となります。

新入生を迎え新体制となったため、様々な困難があると思いますが、大会や練習を通してその目標を達成できるよう、さらに努力していきます。

さて、今年は前年の優勝校である九州大学の主幹で七大学戦が開催されます。昨年は2年連続のアベック優勝を目指しましたが、他大学の上位番手に競り負けてしまい、良い形で終わることはできませんでした。その悔しさを晴らすためにも、今年こそは丸となり優勝を目指していきます。応援よろしくお願いします。



アーチェリー部

学友会アーチェリー部は、川内北キャンパスを拠点に、約40名の部員で日々練習に励んでいます。昨年度の全日本学生アーチェリー王座決定戦では、男子ベスト8、女子ベスト16という創部以来の史上最高戦績を達成し、全国の舞台でも十分戦える実力を着実に身につけています。

現在のチーム最大の特徴は、ここ数年で選手層が一新されて構築された「若手中心の布陣」にあります。中でも注目していただきたいのが、著しい成長を見せる2年生の選手たちです。上級生を脅かす勢いで台頭してきた若い力が起爆剤となり、現在のチームは全国の強豪とも渡り合える圧倒的な層の厚さを誇っています。

今年の七大戦は9月8日から9月10日に熊本市内で開催されます。私たちが狙うのは、他大学を大きく突き放しての「優勝」です。これまで積み重ねてきた練習の成果を本番の舞台で存分に発揮し、なによりも「優勝」という結果そのものに徹底的にこだわっていきます。若いチームならではの勢いと、これまでの練習を自信に変えて、一射一射に全てを懸けて全力を尽くします。皆様の熱い応援をよろしくお願いいたします。



海上運動会の開催について

こんにちは、学友会漕艇部です。私たちは「日本一」を目指し、8月末のインカレに向け日々練習に励んでおります。川内ホールや貞山堀(岩沼艇庫)を活動の拠点とし、79名の部員が所属しています。

ところで皆さん、ボート競技についてご存知でしょうか。ボート競技というのは「手に握ったオールで水を押し、その推進力で艇を進める」スポーツです。また、レースでは2000mをいかに速く漕ぎきるかというタイムトライアル式で勝敗が決まります。

単純にも聞こえるボート競技ですが、速く漕ぐために必要なポイントは、がむしゃらに漕ぐことではなく、全員が動きをシンクロさせることにあります。実はすごく繊細で奥深い、究極の団体競技なのです。

そして、ボートが水面を進む爽快感、レースで競り勝った時の喜びに魅せられて、私たちはボート競技をしています。この魅力的なスポーツを皆さんにもぜひ体験していただきたく、「海上運動会」という学内ボートレースを開催いたします！夏休みの最後の思い出作りとして、奮ってご参加ください。

日時 9月27日(日)

場所 〒989-2422
宮城県岩沼市空港南6丁目4-3
東北大学岩沼艇庫

アクセス JR館腰駅よりバスで15分／
仙台空港アクセス線仙台空港駅より
徒歩15分

種目 舵手付きフォア



第78回東北大学祭の開催について

東北大学祭事務局は、10月23日(金)～25日(日)に開催される「第78回東北大学祭」に向けて、総勢204名で日々活動しております。

昨年度は、2日目・3日目が雨天に見舞われ、模擬店の閉店やステージ企画の中止等、悔しさの残る場面もありました。その経験を経て開催する第78回東北大学祭のテーマは、「架ける、虹の在り処」です。雨上がりの空に現れる虹のように、多くの人々の記憶に残る大学祭を創り上げたい——その想いを込めました。

事務局では「東北大学祭の進化と底力をみせる」を活動方針に掲げています。

第78回東北大学祭においては、これまで培われてきた運営力と柔軟性を最大限に発揮し、その進化の過程と底力を来場者に見せるとともに、大学祭という場そのものを通じて、人々の記憶に残る体験として魅せることを目指し、日々活動しております。

今年の大学祭では、事務局も参加団体の皆様も、熱のこもった企画を多数ご用意しております。見どころとしては、東北

大学の教授による模擬講義企画や、毎年大盛況の芸能人企画等がございます。模擬店配置にも工夫を凝らしており、昨年以上に飲食も楽しんでいただけたかと思います。たくさんの魅力が詰まった企画が満載ですので、ぜひ東北大生の皆様には、会場に足を運んでいただくと幸いです。

最後になりますが、大学祭の成功のためには東北大生の皆様のご協力が不可欠です。昨年からさらに進化した大学祭開催のため、在学生の皆様のご来場とご協力を心よりお願い申し上げます。



国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

外国人留学生も含む日本国内に住むすべての方は、20歳になった時から国民年金の被保険者となり、保険料を納付することが法律で義務付けられています。ただし、年間の所得が少ない学生(目安は前年所得128万円以下)には、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。

この特例制度は、学生支援課①番窓口(教育・学生総合支援センター1階)で申請手続きが可能なほか、住民登録をしている市(区)役所・町村役場の国民年金担当窓口や、お近くの年金事務所でも申請手続きができます。また、マイナポータルを利用した電子申請も可能です。

学生納付特例制度とは？

前年所得が基準以下の学生を対象とした、在学中の国民年金保険料の納付が猶予される制度です。
この制度を利用することで、将来の年金受給権の確保だけでなく、
万一の事故などにより障害を負ったときの障害基礎年金の受給資格を確保することができます。

- 在学中は、毎年度申請が必要です。
- 前年度分を未申請の方、また、住民票の住所を仙台市に異動していない方も学生支援課①番窓口で申請可能です。
- 申請の手続き及び申請書の記載について
 - ・申請書は学生支援課①番窓口にあります。・窓口で申請書を記載する場合は、以下を持参してください
 - *学生証のコピーか在学証明書 *基礎年金番号か個人番号(マイナンバー)が分かるもの(例:基礎年金番号通知書やマイナンバーカードなど)
- 申請後、日本年金機構から「承認通知書」または「却下通知書」が届きます。「却下通知書」が届いた場合、保険料を納付する必要があります。

問い合わせ先

教育・学生支援部学生支援課支援企画係

川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター1階①番窓口

TEL

022-795-7819

博士人材キャリアデベロップメントセンター(PhDC)からのお知らせ

そのスキルが、可能性を開く鍵になる。博士人材キャリアデベロップメントセンターでは、博士学生の可能性の扉を拓く鍵となるプログラムの創出をテーマにサービスを提供しています。

博士課程で培われるのは、専門知識だけではなく、自ら問いを立て、戦略を練り、周囲を巻き込んで完遂する力。それは、アカデミアはもちろん、ビジネスの最前線でも求められる「汎用スキル」です。

PhDCはあなたのポテンシャルを「可視化」し、世界に通用するレベルまで「研磨」する場所。学院共通科目や多彩なセミナーを通じて、民間企業、公的研究機関、起業といった、研究の先にある無限のキャリアパスを切り拓きましょう。



プログラム紹介

体験者のリアルトーク

博士のキャリア構築に関するリアルな話をOB,OGや体験学生から聴くことができます。ゲストスピーカーを囲む形式のため、和やかな雰囲気の中、気軽に質問ができます。

キャリアセミナー

採用側から求められている人材像、博士キャリアのケース例など、博士学生の就活の全体像が把握でき、行動スケジュールが明確になります。

博士リテラシー

博士人材として社会で活躍するために必要な「トランスファラブルスキル」の向上を目的とした大学院共通科目です。異なる専門分野の学生とのグループディスカッションの機会が豊富にあり、研究分野を越えた交流や多様な視点からの学びを得ることができます。

Dr.プレゼン

企業の人事担当者や研究開発者に向けて、研究内容と自己PRをポスター発表する場であり、専門外の方々へ「わかりやすく伝える力」を磨きます。アカデミアでも企業でも通用するコミュニケーション能力の向上につながります。

ジョブフェア

個別ブースで企業説明やQ&Aを行います。興味のある企業だけでなく、視野に入れていなかった企業の情報も得られ、キャリアの可能性を広く捉えることができます。

研究インターンシップ

「ジョブ型研究インターンシップ」と「C-ENGINE研究インターンシップ」の窓口を担っています。大学院共通科目「博士インターンシップ研修」として単位取得も可能です。

個別キャリア相談

博士・ポスドクの方が抱えているキャリア選択に関する悩みや疑問について、個別に相談に乗ります。

最新情報をX(@PhDC_tohoku)、Instagram(phdc_tohoku)でお知らせしています。



詳細は、博士人材キャリアデベロップメントセンターwebサイトをご覧ください。
<https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>



Classroom(情報アーカイブ)もご活用ください。(学年問わず登録可)

